



平成27年11月20日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
(コード番号 6619 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 兼経営企画本部長
竹 居 邦 彦
(TEL 03 - 5436 - 7155)

東京証券取引所市場第一部への上場市場変更承認に関するお知らせ

ダブル・スコープ株式会社（以下、「当社」という）は、本日、東京証券取引所より当社株式の上場市場変更について承認をいただき、平成27年11月27日付けにて東京証券取引所市場第一部へ市場変更することとなりましたので、お知らせいたします。

当社は、平成23年12月に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。事業規模の拡大にあわせ、投資家の方の裾野を広げるべく、市場第一部へ市場変更いたします。これもひとえに株主の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様方のご芳情とご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

なお、東京証券取引所市場第一部への市場変更に関する詳細につきましては、東京証券取引所ホームページ (<http://www.jpx.co.jp/>) をご覧ください。

以 上

□ 当社代表取締役社長 崔 元根からのご挨拶

当社は平成17年10月に、未来のエネルギー、環境、医療分野のメンブレンフィルム専門メーカーとして設立されメンブレンフィルムの一つであるリチウムイオン電池用セパレータ・フィルムに集中させて事業を進めて参りました。

当社事業の特徴は事業のグローバルな展開であります。当社グループは、日本に本社を設立し、韓国、中国に連結子会社を保有しており、日本本社が日本、米国、欧州地域の販売を、韓国子会社が韓国地域、そして中国子会社が中国を担当しております。また、韓国子会社においては当社グループの製造拠点として合計約110,000㎡の敷地に製造ライン4本を保有し、セパレータ・フィルム全量を製造しており、現在さらなる需要拡大に対応すべく、製造ライン3本の増設を進行中であります。

これら事業の特性から当社では特徴のある組織構成を構築して参りました。役職員は、日本本社が13名、韓国子会社が241名、中国子会社が7名となっております。また当社は製造業として製造現場のある韓国子会社を最重要視し、日本本社の取締役4名のうち2名を韓国に駐在させております。（平成27年9月末時点）

現在当社製品であるセパレータ・フィルムは民生用機器、電気自動車（EV）等輸送用機器のリチウムイオン電池に広く使われております。地球規模での環境負荷の軽減が課題となっている今日、当社製品への期待がますます高まっております。このような環境の中で、今後とも当社の特徴を活かして皆様のご期待にお応えすべく、更なる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいります。引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。